

第 1 回平群町第 6 次総合計画等検討委員会での意見等まとめ

項	区分	意見／指摘／質問など	所管課
1	委員	第 5 次総合計画では「中間見直しができなかった。」とのことだが、次期計画では策定がスタートであるという意識を持って、見直し漏れ等がないよう努めてもらいたい。	まち未来推進室
	事務局	取組状況の精査と把握ができる体制を整えたいと考えている。	
2	委員	① 空き家対策として、お試し移住のように一年間定額で平群町での暮らしを体験できるようにしてはどうか。 ② 住民協働については、多世代が交流できる拠点を作って交流を促進してはどうか。大和高田市で高齢者がスタッフとなる子育て世代とのイベントがあるが好評を得ている。	都市建設課 政策推進課
	事務局	① 空き家対策を検討する際の一つの意見として拝受する。 ② 関係課と共有する。	
	所管課	① 空き家のお試し移住は、田舎暮らしを体験できるとして農地付きのリフォームした古民家を移住希望者に貸し付けることで、比較的過疎地域では有効な施策ではないかと考えられる。 しかし、大阪のベッタタウンに位置する平群町の空き家は、大半が市街地に存在し、わずかに存在する山間部の空き家も所有者の意向により売却・賃貸の物件がないため、現時点ではあまり有効な施策とはいえないと考えている。（都市建設課） ② 「どんぐり広場」を中心に現在もマルシェなど行われており、総合文化センターを交流促進の場として発信していけたらと考えている。（政策推進課）	
3	委員	① こども医療費助成等の子育て支援は嬉しいが、こども園の受入れ体制など待機児童対策を充実させないと移住定住は難しい。 ② 小規模保育や託児所等の整備も必要だと思うが、それらの整備状況は。	福祉こども課 教育委員会
	事務局	① 町としても重要な施策だと捉えており検討を進める。 ② 平群町は未設置。三郷町等の近隣町は設置しているので、参考にしながら検討することになる。	
	委員	働く世代にとっては喫緊の課題であり、先のことと捉えず、早急に解決策を検討して欲しい。	

	所管課	① 現在待機児童は、2名となっている。教育委員会やこども園などと協議し、保育教諭の配置基準の見直しの検討を行っている。(福祉こども課) 現在のこども園施設で可能な限り受け入れできるよう継続して取り組んでいく。(教育委員会) ② 近隣市町村の利用調整なども含めて対応しており、民間事業所の誘致等の検討を行うため情報収集等を実施している。(福祉こども課)	
4	委員	平群町にはファミリー・サポート・センター事業はあるのか。	福祉こども課
	事務局	ファミリー・サポート・センター事業はないが、類似の事業として子育て支援センターが「子育てサポートクラブ事業」を実施している。	
	委員	以前はカンガルーママというファミサポのようなボランティアがあったが、行政とのすり合わせがうまくいかずなくなった。 子育て支援に力を入れるなら、そういったボランティアを応援する施策を考えて欲しい。	
	所管課	現在、子育て支援センターにおいて「ファミリー・サポート・センター事業」ではなく、「有償託児事業」を実施している。利用希望登録者は8組(10人)で、サポーター登録者は14人、令和3年度の利用者は12組(18人)となっている。 また、「子育てサポートクラブ事業」及び「一時預かり事業」など他のサービスの周知などにより子育て支援を実施しており、今後も関係機関と協議し検討する。	
5	委員	商工業支援として、空き家をコワーキング施設として利用し、新規事業者にチャンスを与えてはどうか。	観光産業課 まち未来推進室
	事務局	商工業支援としてだけでなく、人口対策を考える際のご意見として拝受する。	
	所管課	コワーキングスペースは、近年都市部だけでなく、郊外・地方にまで広がりを見せており、空き家と活用とも関連性があるといわれている。商工業支援だけでなく、空き家活用方法の一つと考え、他の空き家活用方法と併せて調査・検討していきたい。(観光産業課・まち未来推進室)	
6	委員	発信力が何より足りない。奈良テレビの市町村 CM 大賞にも平群町は参加していなかった。道の駅で PR 動画を流せばいいと思う。	政策推進課 まち未来推進室
	事務局	道の駅の活用や PR 動画作成は、庁内でも話が出ている。新しくできる室がシティープロモーションも担当するので検討すると思う。	

	所管課	情報発信については、様々な媒体を使い発信していく。ただ発信するだけではなく、SNS の利点や特殊性を理解し、最大限に職員が活用できるよう取り組んでいく。(政策推進課) シティープロモーション用にPR 動画を作成することは必要と考えている。まずは誰をターゲットにして、平群町のどのような魅力を発信していくかの検討していく。(まち未来推進室)	
7	委員	町民が平群町の歴史や史跡を知らないことがあるので、町民が自慢できるようなきっかけづくりをしてほしい。また、王寺町のように継続性のあるイメージアップが必要である。	観光産業課 政策推進課 まち未来推進室
	事務局	第5次総計の検証委員会でも同様の意見があり、平群の魅力再発見をコンセプトにイベントを行ったが、継続性については反省点である。 信貴山は平群町にあるということを知ってもらうため、トラ柄ポストの設置などを企画した。	
	所管課	観光 HP のスマホ対応とバーチャル散策機能の更新、インスタグラムの開設、町広報へ町の魅力発信のためのコラムの開設など町内外へ平群町に魅力を複数のツールを使用して、継続的に発信していく。また、町単独ではなく、近隣市町を含めた広域的な取り組みも検討していく。(観光産業課) 以前、平群の魅力再発見ツアーとして、総合計画推進連絡協議会の中で実施をしていた。今後も住民と協働で住民の方に平群町の良さを再認識していただけるよう情報発信していく。(政策推進課) 他市町村の取り組みを参考にしながら、関係課と連携して住民の郷土愛の醸成に繋がるような取り組みを検討していきたい。(まち未来推進室)	
8	委員	高齢化に伴い、高齢者が動けない状態やフレイル状態等について論議されている。町内に総合スポーツセンターや中央公園、北公園などの立派な施設があるので、次期計画ではそれらの具体的な利用について議論が必要であると思う。現在の取組状況は。	福祉こども課
	事務局	長寿会で「いきいき百歳体操」に取り組まれている。そういったことが行いやすい環境づくりに取り組みたい。	
	所管課	健康運動指導士による「元気アップ教室」や「ウォーキング講座」を開催し、気軽に参加できる環境づくりに取り組んでいる。また、地域包括支援センターや自治会、老人福祉センター等で行っている「いきいき百歳体操」の推進も継続していく。	

9	委員	教育委員会が「都市間交流」で外国人との交流を「E 廃止」にしていることが、三里にあるクリスチャンスクールに通っている外国の方も多くおられるので、再度検討して欲しい。多様化の時代に外国人の受入れについて減らしていることが疑問だ。	教育委員会
	事務局	教育委員会に伝える。	
	所管課	「都市間交流」という観点ではなく、「異文化交流」や「国際交流」という観点から、「継続実施」として考えていく。	
10	委員	持続可能な平群町であるために、税収確保が重要であり、どのようにして若い労働者に来てもらうかを考える必要がある。産業は PR 次第だが、信貴山を PR して若い人が来るかは疑問である。 次期計画では集中的な取組が必要だと思う。	まち未来推進室
	所管課	厳しい財政状況の中、第 6 次総合計画では選択と集中を行うことは重要であると考えている。計画策定にあたっては、しっかりと意識をして計画案を作っていきたい。	